

S&Pによる南アフリカの格下げについて

ポイント① 「投機的格付」のBB+に格下げ

4月3日、格付会社S&Pグローバルは、南アフリカの外貨建て長期債務格付を「BBB-」から投機的格付の「BB+」へ引き下げました。同時に、自国通貨建て長期債務格付も「BBB」から「BBB-」へ引き下げました。見通しは「ネガティブ」としました。S&Pによる同国の格付が投機的水準に転落するのは、2000年2月以来、17年ぶりとなります。

また、同日、ムーディーズ・インベスターズ・サービスは、同国の長期債務格付を「Baa2」（「BBB」に相当）から引き下げる方向で見直すと発表しました。

ポイント② 拡張的財政政策への転換を懸念

S&Pによる格下げの背景には、ズマ大統領が3月31日に発表した内閣改造で、南アフリカの緊縮財政路線の継続にリスクが高まったことがあります。

ズマ大統領は内閣改造で、財政路線で対立するゴードン財務相を更迭、支持拡大に向けて拡張的な財政政策に転換する姿勢を示しています。S&Pは、「ANC（アフリカ民族会議）が主導する政権内の対立が、財務相更迭を含めた内閣改造につながり、財政規律、経済成長、政治の継続性がリスクに晒された」と指摘しています。

ポイント③ 格下げ発表を受けてランドは下落

今回の格下げを受け、4月3日の外国為替市場（ニューヨーク時間17時頃）では、南アフリカランドは対米ドルで前日比1.9%程度、対円で同2.3%程度のランド安となりました。

南アフリカの政治情勢については、当面、不透明な状況が続く可能性が高いと考えられます。しかしながら、世界的な景気回復を背景に、足元の資源価格の上昇が継続するのであれば、資源大国のひとつである同国の経済ファンダメンタルズは、中長期的にはサポートされるものと考えられます。

重要
イベント

4月13日 鉱物生産量（2月）
4月19日 消費者物価指数（3月）
4月28日 貿易収支（3月）

図1：南アフリカの外貨建て長期債務格付

（2017年4月3日時点）

格付会社	4月3日発表	4月3日発表以前
S&P	BB+ (見通しは「ネガティブ」)	BBB-
(参考) フィッチ	BBB- (見通しは「ネガティブ」)	(参考) ムーディーズ
	Baa2 (格下げ方向で見直し)	

図2：為替レートの推移



図3：10年国債利回り（現地通貨建て）の推移



(注) Bloombergジェネリック10年国債利回りを使用

(出所) Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。